

佐藤 啓太さん（博士後期課程 2 年）が第 7 回アジア晶析技術シンポジウム（7th Asian Crystallization Technology Symposium, ACTS2025）においてベストポスター賞（Best Poster Award）を受賞しました

Mr. Keita Sato (2nd grade in doctor course) won the Best Poster Award in 7th Asian Crystallization Technology Symposium, ACTS2025

令和 7 年 11 月 12 日から 14 日にかけて国立釜慶大学校（韓国、釜山市）で行われた第 7 回アジア晶析技術シンポジウム（7th Asian Crystallization Technology Symposium, ACTS2025）において、大学院自然科学研究科材料生産システム専攻素材生産科学コース・博士後期課程 2 年の佐藤 啓太（さとう けいた）さんがベストポスター賞（Best Poster Award）を受賞しました。錠剤や顆粒剤などに代表される固形製剤の製造工程では、医薬品の有効成分である原薬を結晶化する晶析工程が用いられています。医薬品原薬の結晶は、人体に対して溶けにくい有機化合物で出来ていることが多いため、溶解・吸収性に優れた原薬結晶の工業的製法の改善が求められています。佐藤さんは、安息香酸をモデルとした原薬の晶析工程において、原薬成分以外の類似成分も一緒にして結晶化することで、人体に溶けやすい内部構造を持つ結晶（共結晶）の製造に成功しました。さらには、人体に無害な高分子添加剤を用いることで結晶化現象をコントロールし、共結晶の収率を大幅に向上させることに成功しました。佐藤さんの今後の活躍が期待されます。

発表者：佐藤 啓太（新潟大学大学院自然科学研究科・博士後期課程 2 年）

（主指導教員：田口 佳成 准教授、実質指導教員：三上 貴司 准教授）

演題名：Influence of polymer additives on reactive crystallization of Benzoic acid–Sodium Benzoate cocrystal



佐藤 啓太さん